

UHF帯の区画整理案

池田信夫

アゴラ研究所 所長

現行の置局（神奈川県内の例）



SFNによる区画整理 (例)



- NHK横浜のテレビ番組は東京と同じなので、東京スカイツリー(27ch)と其中継局でSFNを使えば、神奈川県ほぼ全域がカバーできる。
- 同様に民放も整理すると、UHF帯40chは8chに整理でき、32ch(192MHz)空く。
- 神奈川県の241局のうちすでに233局がSFNなので、残る8局で使えない理由がない。
- VHF帯のNOTTVには、総務省が全国1波のSFNを認可した。
- 「難視聴対策のために独立した周波数」は必要ない。山間部ではSFNでやっている。
- 海上伝搬や反射波の問題は、アンテナの高さや角度の変更(チルト)で最適化できる。
- 電波障害対策などの移行コストは電波の価値に比べると微々たるものだから、新たな利用者に負担させればよい。